

AIG AIG損保

園児総合
保障制度

キッズガード

(商品名: こども総合保険)

健やかなお子様の成長のために…

☆その他、施設長・職員の皆さまへの
福利厚生の保険も扱っています。

お問い合わせは下記連絡先までどうぞ。

引受保険会社

AIG損害保険株式会社

沖縄支店: 〒900-0015 那覇市久茂地1-12-12

ニッセイ那覇センタービル3F

TEL: 098-862-2174 FAX: 098-863-0960

保育園厨房機器・厨房用品全般
食器洗浄機・食器消毒保管庫等(株)盛厨房設備
リサイクル厨房館

本店 〒901-2122 浦添市勢理客2-15-1

TEL: (098) 878-3182 FAX: (098) 874-2405

山内店 〒904-0035 沖縄市南桃原4-30-5

TEL: (098) 930-1010 FAX: (098) 930-0033

ひかりのくに株式会社 沖縄営業所

TEL: 098-889-4339 FAX: 889-1808

E-mail: okinawa@hikarinokuni.co.jp

ひかりのくに

取扱: 幼児の月刊絵本・教材・楽器・積木
園児服・什器・備品・園庭遊具 他

RICOH
リコージャパン株式会社
沖縄支社: 那覇市寄宮1-3-37 NTT那覇ビル1F
支社長 白土和夫

園および
園児を
さまざまなリスクから
サポートします

園經營には、さまざまなリスクが伴います。
(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である
(有)ゼンボでは、園經營はもちろんのこと、
園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。

【園財賠償責任保険】【園児団体傷害保険】
【学校契約団体傷害保険特約付帯普通傷害保険】など、
園經營におけるリスクに関する保険を
ラインナップしています。また、それらを組合的に
補償するセーフティプランもご用意しております。

園児を24時間補償する
共済制度(こども総合保険)です。
団体契約による割引の適用で割安な掛け金で
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(公社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンボ
〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

(引受保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社
担当課: 公務第二部 文教公務室 TEL: 03-3515-4134

このご案内は、園財賠償責任保険・生食物詫賠責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯普通傷
害保険・こども総合保険の概要について紹介したもので、保険内容は本保険制度のパン
フレットをご覧ください。詳細は契約者である公社代理店(有)ゼンボまたは園經營者にお尋ねし
る保険料金によりますが、お不明点がありましたら、取扱代理店さんは保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

幼い胸に美しい夢と感動を

劇団飛行船

<http://www.hikosen.co.jp> CIS-HIKOSEN

■〒530-0047 大阪市北区西天満4-7-3-4F Tel 06-6363-3769

未来の子供たちへ 絵本が育てる子供の心 チャイルドブック

明日の園環境づくりを応援します

株式会社 チャイルド本社
沖縄営業所〒901-0203 沖縄県豊見城市長堂144-2
(TEL) 098-856-8630 / (FAX) 098-856-8635おきなわ
私保連だより

No.

134

2018年
(平成30年)
1月26日

発行所

一般社団法人
沖縄県私立保育園連盟
〒903-0804
那覇市首里石嶺町4-373-1
TEL: 098(887)1270

発行人: 仲地 賢
編集: 広報部



おおきなだいこんとれたよ! (たんぽぽ保育園: 中部北)

もくじ

新年のごあいさつ 会長	2P	予算対策部活動報告	12P
新年のごあいさつ 子ども生活福祉部部長	3P	県出身国会議員へ陳情行動	12P
平成29年度受賞者紹介	4・5P	沖縄キリスト教短期大学との連絡会	13P
沖私保連新年交流会	6P	沖私保連の動き	13P
私保連まつり(全体会)	7P	子どものつぶやき	14P
私保連まつり(各ブロック開催)	8~11P	編集後記	15P
主任保育士研修	11P	広告	15・16P

新年のごあいさつ



一般社団法人
沖縄県私立保育園連盟
会長 仲地 賢

あけましておめでとうございます。

昨年は、当連盟の諸事業活動に、会員園を始め、関係団体・関係者の皆様の多大なるご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。今年も、昨年同様変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は保育界においては、社会福祉法人制度改革の実施や処遇改善加算Ⅱの取り組み、また退職共済制度の公費助成30年度以降打ち切り(結果は30年度も継続検討)の方針が打ち出されました。各保育現場は少なからぬ混乱を来したように感じています。同様に国内の各業界、更に国外に目を転じても、様々な出来事が起り、地球の混乱ぶりは年々増すばかりのようです。

そのような中、昨年は日本の若者が快挙を成し遂げ明るい話題を提供してくれました。一つは中学生棋士の藤井聰太四段が前人未到の29連勝という偉業を達成しましたし、陸上競技では、桐生祥秀選手がついに10秒の壁を破る快挙を成し遂げ、日本中を大いに沸かしてくれました。また、日本生まれの英国人作家のカズオ・イシグロ氏がノーベル文学賞を受賞したことでも記憶に新しい嬉しい話題でしょう。

ノーベル賞といえば、I CAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)が、ノーベル平和賞を受賞し、広島で被爆した反核運動化のサーロー節子氏が授与式で行ったスピーチが平和を望む世界中の人々から称賛されました。

これらの話題は、2020年の東京五輪に向けはずみとなる大きな有益材料となりましたし、核兵器の廃絶運動は、辺野古基地問題にとっても解決に向かう一つの足掛かりとなるのではないかと期待されます。

さて、終戦から73年。児童福祉法が他の身体障害者福祉法などの福祉関連法に先駆けて終戦からわずか2年後の昭和22年に制定されたのは、日本に生まれ・住む子どもこそ何よりも優先して守り育てなければならないものだと、当時の日本の政治家や官僚がそう思っていたことの証左ではないでしょうか。その児童福祉法の24条1項こそ、市町村の保育実施義務を定めた法律です。

昨年、県内で大きな問題となったのは、公立保育所全廃問題や待機児童と定員割れが同時に発生したミスマッチ問題ですが、当連盟は県内の市町村の私立保育園で構成された組織ですので、市町村の子育て支援計画にはぜひとも市町村の園長会の意見も参考にして頂くよう、強く要望したいと思います。

最後に、今年が当連盟会員園及び関係団体の皆様にとって、夢が持てる明るい話題が一つでも多く増える事と、皆様のご健勝とご多幸を祈念し新年のあいさつをいたします。

新年のごあいさつ



沖縄県子ども生活福祉部
部長 金城 弘昌

沖縄県私立保育園連盟会員の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。年頭にあたり、新年のごあいさつを申し上げます。

会員の皆様には、日頃より、本県の子ども達の健やかな成長のため、児童福祉の向上に御尽力いただき、心から感謝申し上げます。

沖縄県は「黄金っ子応援プラン」に基づき、待機児童解消を図るための取り組みを強化し、平成29年4月1日時点で約1万1千人の保育定員の確保と約1400名の保育士を確保したところであります。

国においては、平成29年12月に「新しい経済政策パッケージ」を定めたところであります。待機児童解消に向け、「子育て安心プラン」を前倒しし、2020年度末までに32万人分の保育の受け皿整備を行うとしており、併せて、保育士の確保や他産業との賃金格差を踏まえた処遇改善に更に取り組むこととしています。

県としても、引き続き、保育の受け皿整備と保育士の確保を柱とし、国の取組や県独自の各種施策を市町村と連携して行い、待機児童の解消や保育を担う人材を確保するため、積極的に取り組んでまいります。

特に保育士の確保や離職防止のための施策として、保育士修学資金の貸付、潜在保育士の再就職準備金の支援、保育士の正規雇用化や年休取得及び産休取得に対する支援のほか、平成29年度は公定価格改定に伴う処遇改善に加え、技能・経験に応じた新たな処遇改善が図られております。さらに、平成29年4月から宮古・八重山地域で保育士試験を実施しており、保育士確保の機会を拡大しております。

また、平成30年4月から、新たに適用される保育所保育指針においては、3歳未満児の保育の意義の明確化、保育に携わる職員の資質・専門性の向上、保護者や地域と連携した子育て支援の必要性などが示されました。このように、保育所に求められる役割が多様化している中、地域との連携体制の構築や職員の専門性の向上がより重要となっています。

沖縄県におきましては、保育所職員が更なる専門性と資質の向上を図るため、各関係機関と連携し、研修の実施に向け取り組んでおります。併せて、保育士の処遇や労働環境の改善を含めた、保育士が働きやすい環境の整備を進めてまいります。

これらの取り組みを進める上で、県、市町村と貴連盟をはじめとした保育関係団体の皆様がこれまで以上に緊密に連携し、保育現場に求められている支援や保育制度の在り方について、認識を共有していくことが重要であります。

沖縄県私立保育園連盟におかれましては、会員相互の結束のもと、現場が直面する課題等について、様々な側面からの支援を行うことにより、本県における保育の更なる質の向上に御高配いただきますようお願い申し上げます。

結びに、沖縄県私立保育園連盟のますますの御発展並びに関係各位の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

平成29年度 受賞者紹介



叙勲

玉城善徳(室川保育園)



厚生労働大臣表彰

仲田房子(こくら保育園)



知事顕彰

長浜明美(エンゼル保育園)

平成29年度 受賞者紹介

全私保連表彰保育功労賞



小橋川真智子
(やまびこ保育園)



仲村晴美
(登川みらい保育園)



伊禮良樹
(松島保育園)

全国保育協議会会長表彰



諸見里安智
(みはら保育園)



仲間明
(第二々しかみ保育園)



増田陽一
(あいの保育園)

沖縄県社会福祉大会長表彰特別永年勤続功労者



上原東
(すこやか保育園)



長嶺久美子
(港川保育園)

沖縄県私立保育園連盟 新年交流会

平成30年1月10日(水)ホテルロイヤルオリオンに於いて、一般社団法人沖縄県私立保育園連盟新年交流会が、会員、日頃お世話になっている来賓の方々、関連業者を合わせ121名が一堂に会し開催されました。

仲地賢会長の挨拶に続き、来賓の沖縄県子ども生活福祉部子ども福祉統括官・名渡山晶子氏、那覇市こどもみらい部長・浦崎修氏よりご挨拶を賜りました。

幕開けは玉城流七扇礼乃会伊野波礼子琉舞研究所、師範の比嘉梨乃氏と首里当の蔵保育園園長大城祥恵先生による「かぎやで風」を踊って頂き、優雅な雰囲気をかもし出す、すばらしい舞にうっとり見とれてしまいました。

社会福祉協議会常務理事・嘉陽孝治氏の乾杯のご発声の後、会場は歓談で賑わい進められました。新年にふさわしい、はつらつとした声は耳慣れした我広報部長の司会で行われ、第2部では青年会議による今年度受彰された方々への花束贈呈と、受賞者代表あいさつをこくら保育園仲田房子先生により行われました。

余興には屋良景俊先生によるフォークコンサートとbingo大会が行われ、歓声の中プレゼントを頂いた会員の顔は童心に返り満面の笑みがこぼれ、楽しく和やかな雰囲気の中で終えることができました。

今年度は特に保育を取り巻く環境の著しい変化の中、保育士の処遇改善が最重要課題になりました。保育指針の改訂により保育士の資質・専門性の向上が求められています。

児童福祉の向上こそが、保育現場の願いです。子どもの笑顔あふれる飛躍の年になりますよう会員同士思いを共有した一年のスタートになりました。(広報部:糸数・親泊)



仲地賢沖私保連会長



華麗なかぎやで風で幕開け



かぎやで風で幕開け



かぎやで風で幕開け



名渡山晶子氏(県子ども生活福祉部)



かぎやで風で幕開け



かぎやで風で幕開け



かぎやで風で幕開け



浦崎修氏(那覇市こどもみらい部)



かぎやで風で幕開け



かぎやで風で幕開け



かぎやで風で幕開け



嘉陽孝治氏(県社会福祉協議会)



かぎやで風で幕開け



かぎやで風で幕開け



かぎやで風で幕開け

私保連まつり(全体会)

平成29年11月19日(日)、かでな文化ホールに於いて「めざそう子育てしやすい社会の実現を～人生の始まり(乳幼児期)こそ公の責任を～」をテーマに、第16回私保連まつりが開催され、約670名の保育関係者や保護者が参加しました。

はじめに田仲予対部長から、児童福祉法24条1項を守る沖私保連のこれまでの運動の経緯と、新制度の改善に向け、全ての子どもに平等に保育を保障するよりよい制度の構築をめざし、共に頑張っていきましょうと呼びかけられました。

オープニングアトラクションでは、のぐさ保育園による素敵な生演奏と、魅力的な音楽に合わせた優雅で迫力ある演舞が披露され、その表現力の素晴らしさに会場内は大きな感動に包まれました。

開会式では、県私保連 仲地賢会長のあいさつにはじまり、来賓の沖縄県知事 翁長雄志 代理 沖縄県子ども生活福祉部 子ども福祉統括監 名渡山晶子氏、沖縄県社会福祉協議会会長 湧川昌秀 代理 常務理事 嘉陽孝治氏より祝辞を頂きました。

その後、ブロックごとに私保連まつりのPRがなされ、各ブロックとも個性豊かで見ごたえのあるユニークなPRで、会場を大いに沸かせていきました。

記念講演では、「たのしい保育園に入りたい～子どもの思いを受けとめられる保育園に 保育士待遇の実情と改善課題を考える」と題して、保育研究所所長の村山祐一氏にご講演いただきました。講演では保育士の待遇改善について、2000年度以降の15年間で一人当たりの単価が増えていないこと、また保育単価が上がっていないことなどと同様に保育士の給与も上がっていないことなどを指摘し、これが保育士の待遇改善を阻らせた大きな要因である。さらに公定価格に積算されている研修関係等の経費単価についても、消費税が5%から8%へ上がっているにも関わらず、職員の研修費などがほとんど変わっていないことから、職員の待遇に関する様々な経費が2000年以降ほとんど変化していないことなども指摘して下さいました。保育士の配置数についても、実際の配置数が国基準の約2倍であるため保育士の人員費財源が約2分の1となること、また、保育士自身も正規保育士になることを敬遠し、経験ある保育士が子育て等の理由により働き続けられない現状から、保育の質の低下につながり保育事故を引き起こす要因となりうることなども指摘して下さいました。保育事故については、まず保育業界が先頭に立って保育事故ゼロをスローガンに取り組んでいくことが重要であり、そのためには、職員同士で共有・連携・協働していくことが大切で、全員参加の職員会議などをおこなうために、8時間の労働時間中の2時間程度を保育計画・準備・まとめ、研修等にあてる必要があることを訴えかけ、保育士の働き方を見直すこと、保育士を約30%増員することを提案し、制度の改善が必要であると指摘して下さいました。また完全週休2日制とすること、年間開所日を250日とすること、土曜日も幼稚園の預かり保育事業同様に休日保育として位置付けること、幼稚園教諭並みの長期休暇(夏休みなど)の確保、園研修のための閉所等、保育士の自己研修時間の確保とワークライフバランスの保障についても訴えかけ、そのためには園同士での土曜保育の当番交代制やセンター方式など、市町村がイニシアティブを取り、地域の実情にそったシステムの構築が必要であり、地域社会全体が保育・子育て支援を支えることが保育の質の底上げにつながるとお話しして下さいました。

午後1時から始まり4時間という短い時間ではありましたが、私保連まつりの意義である「子育てしやすい社会の実現」に向け、全ての子どもの健やかな育ちを保障できるよう 参加者が心を一つにし、志を共有できた実りあるまつりとなりました。



仲地賢沖私保連会長



名渡山晶子氏(県子ども生活福祉部)



嘉陽孝治氏(県社会福祉協議会)



田仲予対部長



田仲予対部長



村山祐一氏



名渡山晶子氏(県子ども生活福祉部)



名渡山晶子氏(県子ども生活福祉部)



名渡山晶子氏(県子ども生活福祉部)



名渡山晶子氏(県子ども生活福祉部)



名渡山晶子氏(県子ども生活福祉部)



嘉陽孝治氏(県社会福祉協議会)



嘉陽孝治氏(県社会福祉協議会)



嘉陽孝治氏(県社会福祉協議会)



嘉陽孝治氏(県社会福祉協議会)



嘉陽孝治氏(県社会福祉協議会)

私保連まつり(各ブロック開催報告)

★北部ブロック ブロック長 末吉幸博

北部ブロック(名護市、宜野座村、本部町)は、2年に1度の第16回私保連まつりを名護市民会館大ホールにて開催(11/23)致しました。

私保連まつりのテーマ「めざそく子育てしやすい社会の実現を～人生の始まり(乳幼児期)こそ公の責任を～」が掲げられました。北部ブロックは、長年にわたり児童文化活動に従事され、昨年「第56回久留島武彦賞」を受賞されました「人形劇団かじまやあ」の桑江純子氏の人形の世界を楽しんで貰おうと今年の4月から園長会が実行委員会となり、皆でアイディアを出し合い、北部ブロックの持ち味と言える「チームワーク」で取り組んできました。まつり当日、人形劇開演まで人が集まってくれるのかと心配していましたが、それを吹き飛ばすかのような、たくさんの親子や保育者、仲間達の姿が会場に溢れていました。

人形劇団かじまやあ「チョンダラー」が開演されると、歌あり、涙あり、笑いありのユーモアと躍動感溢れる、桑江純子氏の世界に引き込まれるかのように、子ども達は豊かな表情を見せ、元気な笑い声や笑顔が会場に輝き、北部ブロック園長会はじめ多くの方々のご理解、ご協力の下、第16回私保連まつり北部ブロック開催を盛況に終えることができました。

また、開催地が名護市という事で、名護市の稻嶺進市長より来賓あいさつを頂きました。あいさつの中で「法人保育園が子ども達の育ちを健やかに育んでくれています。保育士不足という深刻な現状もあります、また、子ども育て新制度に課題等もありますが、これからも行政と力を合わせて、共に子ども達を育てていきましょう」とのお言葉は、テーマである、人生の始まり(乳幼児期)こそ公の責任とのメッセージが込められているように思えました。

最後に、私保連北部ブロックPRとして各園から選出され、「ハカやんばる(注1)(子どもの最善の利益)」を元気いっぱいに発信してくれた皆様にも、心より感謝致します。ありがとうございました。

(注1)ハカ・・・ラグビーニュージーランド代表(オールブラックス)が国際試合前に舞う民族舞踏として有名。今回、北部ブロックの皆さんが“ハカやんばる”として『子どもの最善の利益』を訴えた。

★中部北ブロック ブロック長 喜屋武恵子

第16回私保連まつり中部北ブロックは、去る11月26日具志川ドームで午後1時30分より開催いたしました。9月8日実行委員会を立ち上げ、約2か月半の期間ではありましたが、園長や保育士の皆さんのアイデアを生かし、どのコーナーも大盛況でした。

オープニングでは園長コラス(さんぽ・もみじ・童神)から始まり、ゆい太鼓、獅子舞で幕が上がり、ブロック長の挨拶で開会、沖私保連上原東副会長より主催者挨拶、来賓として島袋俊夫うるま市市長から激励のお言葉を頂きました。開会後、各コーナー(ステージ、作ってあそぼう、親子であそぼう)が開かれ、どのコーナーも親子で列ができるほど賑わっておりました。フィナーレではうるま市で人気のキャラクター『ウルマー＆ワイドー』の登場に会場の子ども達は歓声を上げて大喜び。一緒に掛け合いやウルマーダンスを踊り、盛り上がりを見せました。当日は悪天候だったため客足は伸び悩みましたが、会場に足を運んでくれた参加者は十分に楽しめたようで「親子で楽しい時間が過ごせた」と感謝の言葉も聞かれました。まつりのテーマとなつた『めざそく子育てしやすい社会の実現を～人生の始まり(乳幼児期)こそ公の責任を～』をこれからも広く市民にアピール出来るよう中部北ブロック一致団結で頑張ります。



島袋俊夫うるま市長



私保連まつり(各ブロック開催報告)

★中部南ブロック ブロック長 又吉剛

中部南ブロック私保連まつりは、各保育園の主任保育士が実行委員となり、親子参加型の遊びや舞台発表、ベビーマッサージ等を企画し、11月26日、浦添市多目的屋内運動場で開催されました。

会場では、遊びコーナー(体を使ってあそぼう、作ってあそぼう、シアター、積み木)

舞台(セントラル・ウインド・アンサンブル[金管バンド]、園長レンジャー、フラフープ大会、ピエロショー、劇あそび[ゆかいな・おんがくたい]、ベビーマッサージ、パネルコーナー(各園の紹介、『乳幼児期こそ公の責任を』の資料配布)など盛り沢山のコーナーが設置され、多くの親子の楽しむ姿が見られました。当日は父親の参加も多く、子ども達の笑顔や真剣な姿が見られました。

入場者数は、1,103人(大人647人+就学前児童456人)でした。

来賓で出席された松本哲治浦添市長や市民(保護者)に資料パネル「公の責任」を説明したり、「児童福祉法24条1項を守ろう」と訴えることができ、有意義な中部南ブロック私保連まつりになりました。

見えないところで各園一人一人の保育士が作り上げた中部南ブロック私保連まつりでした。保育士の皆様、ありがとうございました。



中庭あそび

★那覇ブロック ブロック長 ウィンフィールドひろみ

那覇ブロックは、平成29年11月25日(土)13:30~17:00に沖縄キリスト教学院大学にて祭りを開催しました。内容は、風の子劇団による「やだやだあっかんべー」、クラウンコトラさんのバルーンアート、手作りコーナー、塗り絵コーナー、中庭での外遊びコーナー等を実施し、大盛況に終わりました。演劇は、約300名の方が来場し観劇して頂きました。各コーナーは、大盛況で、時間が過ぎても残っていたい雰囲気でした。また、各コーナーの設置の工夫が、保育の中で参考になり、各園で役立てられるのではないかと思われました。

オープニングでは、那覇市長がお見えになってご挨拶を頂きました。また、仲地賢会長がいらして下さって、祭りの趣旨を皆さんにご周知して頂きました。

天気にも恵まれ、お互いの保育の工夫や那覇ブロック加盟園の職員交流もあり、ブロックとしての絆が深まり、これから私保連の運動、活動を円滑にしていくものと思われます。携わっていただいた1人1人が役割を持って、それぞれの場でご活躍して下さったことが今回の祭りを成功に導いてくださったと心から感謝申し上げると共に報告致します。

会員からは、下記のような感想をいただいています。

「おだやかな空気の下で、大人も子どももゆったりと楽しそうに遊んでいる姿に私達もホッとした気持ちですごすことができました。」

「風の子劇団の4人で構成し、舞台の工夫もとても参考になり、(シンプルで豊かで)楽しく観劇できました。」

「来ていた保護者も来てよかったです!嬉しそうに声をかけてきました。」

「ちょっと遠い会場でしたが、ベストでした。」

「大成功でしたね。那覇市長までお招きすることができて良かった。」

私保連まつり(各ブロック開催報告)

★南部ブロック ブロック長 屋良景俊

気持ちの良い青空の下、与那原町3カ園の子ども達のかわいくて、勇壮で、誇らしげなエイサーで私保連まつり最終日である第16回南部ブロック私保連まつりの幕が上がった。

たくさんの保護者、園長先生、保育士たちの優しいまなざしの中、まつりのオープニングを飾る子ども達と先生たちがカッコ良かった。与那原町長古堅國雄様よりご挨拶を頂き、激励していただいた。

式典終了後、会場である沖縄女子短期大学の体育館では、舞台発表が行われ、各々の保育園の特色やこだわりが前面に出した内容で、体育館を埋め尽くす観客の前でひるむことなく、リズムやダンス、合奏、太鼓演奏をする子どもたちに大きな拍手が何度も鳴り響いていた。

舞台後、体育館中に広がった各保育園での親子遊びや制作あそび、折り紙、じゃんけんゲーム、バルーンアート、ペーロマ遊び、トランポリンなど多彩な遊びが繰り広げられ、ラッシュアワーのように行き交う中、色々な親子が楽しそうに遊んでいるのがすごく良かった。

展示コーナーでもそれぞれの園での工夫がなされ、今の保育園の現状や問題提起もわかりやすかった。

「終わりよければすべてよし」と言われますが、最高に良い雰囲気で終えることができ、法人園の社会的な存在感や頑張っている姿を広くアピールできたのではないかと思った。

企画運営を担った実行委員の皆さん、世話役の皆さん、盛り上げてくれた保護者と子どもたち、実行委員を派遣してくれた園長先生に感謝したい。

できればこのような保育園の頑張りを何度も発信する機会をつくり、子どもたちのために大人たちがつながっていくような取組や運動ができたらしいなと思う。ありがとうございました。

★先島ブロック(石垣島) 報告 杉本みづ乃(なごみの広場)

毎年行われている石垣市祭りに対して、今年は石垣市市政70周年を記念して先島ブロックとして、初めて参加を行った。

- ・パレードには37団体、2000名が参加し、1.1km程の街道には多くの市民が繰り出した
 - ・11／5の各団体が参加するパレードに私保連として、保育士を中心とする各園から多くの職員が参加した。
 - ・パレードでは幅広い方々へのアピールを考えて、地域でなじみのある石垣市出身のバンド「きいやま商店」の『アチサンサン』および、今年の夏に流行った『三太郎音頭』を振付して皆で踊った。
 - ・パレードでは、先頭に「八重山私立保育園連盟」の横断幕を掲げ、事前に用意した風船やお菓子を沿道で応援してくれる子ども達へ配布なども行い、私保連のアピールを行った。
- 多くの市民が見学に来ており、団体としての私保連の地域への周知を行うことができた。
- また、踊る保育士さんを見て喜ぶ(各保育園の在園児)子ども達の様子が多くあった。
- それを地域の方々が見守ってくれ、認可保育園に入りたいと思った方々も多くいたことかと思われる。



私保連まつり(各ブロック開催報告)

★先島ブロック(宮古島) ブロック長 與那霸高枝

子ども子育て支援新制度が施行され、子どもの最善の利益を基本方針とされていますが、保育現場においては現制度の動向に揺れ動いている現状は否めません。その中において沖縄県私立保育園連盟の活動は、問題点や保育制度改革の提言等を積極的に行って頭の下がる思いがいたします。

活動のひとつとして第16回私保連まつりは、保育所保育の意義や重要性をアピールすることを目的に各ブロックにおいて開催されており、沖縄県私立保育園連盟先島ブロック宮古島においても、保育園における保育の重要性や社会への貢献度を広めるべく、テーマを「めざそう！子育てしやすい社会の実現」として、平成29年10月14日(土)マティダ市民劇場において親子400～450名を動員し、宮古島市長の挨拶を皮切りに盛大に実施することができました。未来ある子ども達の健やかな育ちを社会全体で見守っていこうと確認できたイベントとなりました事に感謝申し上げます。

主任保育士研修

平成29年12月26日(火)、沖縄コンベンションセンターにおいて、主任保育士研修会が開催され、253名の主任・副主任保育士や園長・副園長が参加しました。

講師に、東洋大学准教授の高山静子先生をお招きし、「保育の質を高めるリーダーの役割～新指針・要領と実践を結びつける～」と題して、幼児教育の現状と質の高い幼児教育とはどのようなものか、また保育の質を高めるためのリーダーの役割について、マネジメントの観点からお話しして下さいました。

研修会では、参加者同士のディスカッションが多く設けられ、沖縄の保育の現状についての意見交換や自園の課題など、互いの交流も含めた意義のある充実した議論がなされました。また、保育環境についても多くの実践事例を示して下さり、質の高い保育に向かうための環境構成の在り方についても学ぶことができました。

園の課題に向き合い、自らの保育を見直し、また明日から子ども達の健やかな育ちのために全力を尽くそうと、意欲が奮い立つような研修となりました。



高山静子先生

予対部報告

予対部部長 田仲雄二

今年度は例年以上にあわただしい変化の年となっています。社会福祉法人制度改革による評議員の設置、保育所保育指針改訂(平成30年4月~)、新たに“技能・経験に着目した更なる処遇改善”(処遇改善Ⅱ)の導入。現場の私たちは国からの通知の遅れから、情報が右往左往し混乱しています。また当初、平成29年度までに待機児童0を目指した「待機児童解消加速化プラン」(平成25年度~)も社会情勢の変化に伴う母親の就業率の高まり等もあり、少子化にもかかわらず保育需要は拡大を続け目標達成の目処はたちません。新たに示された「子育て安心プラン」(平成30年度~)も企業主導型保育事業等による保育の受け皿拡大をさらに進める方向性であり、これまで行ってきた規制緩和して待機児童を解消していくこうとする方向の延長線上にあります。このような変革期においても、子どもの最善の利益を保障し、これまで以上に良い保育環境が質・量ともに高められるよう「より良い保育制度の構築を目指す」と銘打って平成29年度署名・カンパ活動を今年度も行いました。(10月末日迄)国はこれまでの規制緩和による保育の量的拡充ではなく、抜本的に政策転換し保育を担う保育士の社会的役割を評価し、すべての保育士が専門職として自信を持って働き続けられるよう処遇改善をすべきです。そのことが離職防止や新たな保育士確保に繋がり、待機児童解消に直結します。署名活動は選挙同様、私たちの声を届ける重要な活動の一つです。会員の皆様のご理解・ご協力に心より感謝申しあげます。(一社)沖縄県私立保育園連盟 署名数41, 651名 カンパ3, 333, 285円 ※H29・12月

これからも、児童福祉法24条1項(市町村の保育実施義務)の意義を念頭におきながら国からの指針や施策をそのまま受入れるのではなく、そこから派生する問題点を保育団体として指摘し、より良い保育制度になるよう予算対策運動につなげていきたいと思います。

県出身国會議員へ陳情行動

平成29年12月21日、仲地賢沖私保連会長はじめ8名で、沖縄県出身国會議員に対し、平成30年度保育関係予算・制度等について陳情を行いました。それぞれの任務のため不在の先生方も多かったのですが、伊波洋一参議院議員、照屋寛徳衆議院議員の諸先生方と直接お会いすることができ、保育士の処遇改善についてなど様々な現場の声を直接訴えることができました。

参議院会館

糸数慶子先生 面会 秘書対応
伊波洋一先生 面会 本人対応
儀間光男先生 面会 秘書対応



衆議院 第一議員会館

玉城デニー先生 面会 秘書対応
赤嶺政賢先生 面会 秘書対応
下地幹郎先生 面会 秘書対応



衆議院 第二議員会館

照屋寛徳先生 面会 本人対応
西銘恒三郎先生 面会 秘書対応
國場幸之助先生 事務所お休み



照屋寛徳衆議院議員、伊波洋一参議院議員 照屋寛徳事務所の先生方へ直接訴え。

沖縄キリスト教短期大学との連絡会

平成29年10月27日(金)沖縄キリスト教短期大学との連絡会を行いました。

私保連から仲地賢会長はじめ三役と部長含め9名、キリ短から保育科科長の照屋建太先生はじめ9名の先生が参加しました。慢性的な保育士不足の中で、関心事項の「昨年の就職状況」は、120名卒業に対し、求人件数は3,050名。就職先の内訳は、幼稚園14名、保育所(園)76名、認定こども園2名、一般企業4名、その他1名、進学・留学7名、未定11名、との事でした。

養成校から保育実習の受け入れに感謝しつつ、養成校から保育実習の際に学生に対し保育園から卒業後の採用の話しを持ちかけるのは、保育実習の目的に沿ないので控えて欲しいとの要望がありました。

また、これまで1桁だった県外就職者も昨年は16名と増加傾向にあり、県内保育園の「働き易い職場作り」に沖私保連として取り組んでいく必要性を感じました。



沖私保連の動き

10月

26日(金) 沖縄キリスト教短期大学との連絡会

11月

1日(水) 全私保連事業部長会議(神戸)

4日(土) 八重山地区石垣市祭り

13日(月) 大井琢先生意見交換会

14日(火) まつり実行委員会・理事会

15日(水) 保協全国大会(兵庫県)

18日(土) 八重山私保連研究発表会

19日(日) 第16回私保連まつり(嘉手納)

22日(水) 県子ども子育て会議

23日(木) 北部ブロック私保連まつり

24日(金) 沖縄県福祉大会

25日(土) 那覇ブロック私保連まつり

27日(月) 玉城善徳先生叙勲祝賀会

29日(水) 危機管理研修会

12月

4日(月) 保協所長研修

8日(金) 全私保連青年会議幹事会

10日(日) 南部ブロック私保連まつり

12日(火) 沖私保連理事会

26日(火) 主任保育士研修

28日(木) 仕事納め

29日(金) 年末休み

1月

4日(木) 仕事始め・社協新春懇談会

10日(水) 私保連新年交流会・理事会

24日(水) 保育祈念会

26日(金) 広報部会



子どものつぶやき

編 集 後 記

☆4歳児クラス 給食のデザートにアイスクリームが出た日、一人の女児が「先生、アイスクリームがおいしくて、○○のほっぺたが落ちたら拾ってまたお顔にくっつけてねー」とアイスクリームをおいしそうに頬張りながら保育士に報告していました。

☆1歳児クラス 一人の男児が保育士のイスで遊ぼうとしているのを一人の女児が見つけ、「メー(だめ)よ！」と何度も声をかけましたが聞いてくれないため、困った女児は近くにあった玩具を取り、男児に「はい！はい！」と渡して、椅子から気をそらそうとしていました。小さな保育士みたいで可愛かったです。

☆運動会にて4歳女児 運動会後、金メダルを持って幸せそうに「はあ～！」とため息・・・。「金メダルをもらっちゃった～」と嬉しいような様子に見ていた家族も幸せな気持ちになったそうです。・頑張った証の金メダル。もらったことで達成感もひとしお。

☆「いち、にー、さん、しー」

先生：Kくん、きれいに髪カットしたね～

K：いちいちいわないで～

先生：じゃー、にーにーなの？

K：いや、さんしー

☆「かえるはおもちゃ」

手のひらからはみ出すぐらいの大きなかえるを自慢げに父に見せるAくん。「これ、見て」

「ウ・・・ツ、わ～、カエルのお母さんのところにかえしなさい」

「はい」(妙に素直)すぐさま、きびすを返して園庭に向かうが・・・「これは犬、おもちゃの犬だからばくとあそぶの」

☆「サンタのゆびわ」

12月2日のお遊戯会のこと、全園児舞台に登場して最後にセレモニーの場面に、いきなり鈴の音が鳴り、ジングルベルの音色に乗って登場したサンタクロース。司会の先生とやり取りをして、たくさんプレゼントをしてくれて、喜びの子どもたちのわいわいがやがやの中、サンタさんの姿は見えなくなっていました。年長児の女の子は見ていました。結のリングを。「サンタさんは結婚しているんだね」(寒い国から温かい宮古島へ、手袋いらなくなったんだね)

☆Sちゃん(1歳) 方言でのご挨拶が上手なSちゃん。「Sちゃん、何才？」と聞くと「はいさーい！」と答えてくれます♡

☆ある日のままごと遊び・・・先生「何つくってるの？」

Mちゃん「らーめん」

先生「先生はみそラーメンがいいな。Mちゃんは何ラーメンがいい？みそ？しょうゆ？しお？」

Mちゃん「・・・しる(汁)」・・・確かにどれもしる(汁)！いつも笑いの絶えないクラスです。

☆「今日のおやつは蒸しパンだよ」「どこにムシ(虫)がいるの？」と蒸しパンに顔を近づけ見つけていました。

☆テラスから見えるこいのぼりが突然なくなってしまったことに気づき、「お腹がいたくなってしまったんだよ～」

☆子育て支援センターでお弁当時の会話

Aさん「Bちゃんのお弁当箱、かわいいねー」Bちゃん「うん、このお弁当箱ね、むかし、だんなが使っていたんだよ」

Bちゃんママ慌てて「きゃーごめん、私が話すことマネしてる！」・・・みんな大笑いで楽しいお弁当タイムになりました。

☆Aちゃん 「えんちょうせんせい、かみきったの？」

園長「そうだよ～。どうにあう？」

Aちゃん「とってもかわいいよ。どこできったの？」

園長「どこできったとおもう？」

Aちゃん「おふろばで？」

・・・きっとAちゃんはお風呂場でお父さんやお母さんに髪の毛を切ってもらっているんですね。とてもほのぼのとしてあたかい気持ちになりました。

・園長としての経験の浅い私が広報部長という大役を仰せつかることになって2年。私保連だより129号から134号まで年3回発行し、沖私保連ホームページの更新作業という役目を果たすことができ、ひとまずほっとしているというのが本心である。広報部としての活動を円滑に行うことができたのもひとえに広報部員の先生方の協力や多くの先生方の支えがあったからこそ。この場を借りて感謝の気持ちを表したい。又、部長として活動する中で組織の大切さを強く感じることができた有意義な時であった。2018年、様々な挑戦をした西年から、一歩一歩前進するための地固めの戌年にしていきたい。

(嘉陽理子)

・広報部員として10年目に入り、これまでの活動を振り返ると、お世話になった先輩園長の顔がたくさん浮かんできました。今年はしばらくお会いしていない先輩に年始の挨拶まわりを一年の目標にします。

(川武)

・子どものつぶやきに目を通すと、子どもたちの素朴な言葉にハッとさせられたり、笑ってしまったり・・・。子どもの純粋さって年齢を重ねるごとにいつの間にか失ってしまうものだなーと何だか寂しく感じてしまいます。

(モリモリ)

・134号は2年ぶりに開催された私保連まつりの情報や新年にふさわしい内容です。今年度最後の私保連だよりの編集に携われることができ、ありがとうございました。

(Miya)



【取扱い】
絵本、砂場メンテナンス、
保育用品、室内・園庭遊具など
♪なんでもご相談ください♪

沖縄科学教材社 TEL/FAX 098-927-6433
〒902-0073 那覇市上間366-1 担当：島袋 康平

**私たち「観光」と「交流」で
地域社会に貢献します。**

地域に根ざし 世界にはばたく

OTS 沖縄ツーリスト
本社: 那覇市松尾1-2-3 ☎(098)862-1111
●旅行部 ●レンタカー部
本店 ☎ 098-862-1111

天然成分のナチュラル&アロマ
夏のお出かけも安心・安全。

アロマの虫除け ガーデンボディミスト月桃



沖縄の人々に虫除け効果がある植物として親しまれている月桃水をベースに、オーガニックのエッセンシャルオイルを配合したボディミストです。優しく素朴な香りは、虫除け効果だけでなく気持ちをリラックスさせてくれます。100%植物由来で、小さいお子さんや敏感肌の方にも安心。

※私保連加盟店には特別割引価格にてご購入いただけます。ご購入の際には、FAX、またはお電話、メールにてご注文ください。

オーガニック & アロマ ベタルーナ
TEL 098-943-6550 FAX 098-861-5177
E-mail : info@petaluna.com

ベタルーナ | 検索